

2026年4月21日

各位

会社名 株式会社 SBI 新生銀行  
代表者名 代表取締役社長 川島 克哉  
(コード番号:8303 東証プライム市場)

**FOLIO の AI 運用技術を活用した私募ファンドへの投資について**  
～SBI グループの AI 運用実績と技術力を取り込み、証券投資ビジネスの高度化を加速～

株式会社 SBI 新生銀行(本社:東京都中央区、代表取締役社長:川島 克哉、以下「当行」)は、このたび、当行の証券投資ビジネスの高度化を図るため、SBI グループが新たに組成した AI 活用型の私募ファンド(以下「本ファンド」)への投資を実施しました。

当行は、証券投資ビジネスを中期経営計画における「成長を牽引する重要領域(成長ドライバー)」として位置づけしており、安定的に収益に貢献するポートフォリオの構築を目指しております。本ファンドは、SBI グループにおいて AI を活用した資産運用技術の開発を手がける株式会社 FOLIO(本社:東京都千代田区、代表者:四元 盛文)が中心となり、グループ各社がそれぞれの専門領域を担いながら連携して構築した枠組みにより運営されております。FOLIO は、当行のリテール向け金融商品においても既に AI を活用した運用・サービス提供を行っており、その運用実績や技術力については当行として十分な評価と知見を有しております。本ファンドへの投資は、こうした既存の協業実績を基盤とした取り組みであり、AI 活用型投資手法の実践を通じて、当行の証券投資ビジネスのさらなる高度化を図るものです。

当行は本件への投資を契機に、AI を活用した投資判断や運用プロセスの高度化を通じて、運用領域の拡大と高度化を加速してまいります。また、本取り組みから得られる知見について、個人・金融機関・事業法人など、幅広い領域でのソリューション提供への活用可能性も踏まえ、検討を進めていく予定です。当行は、AI とデジタルを基盤とした取り組みを推進し、“次世代金融”の実装と新たな銀行モデルの確立を目指してまいります。

当行グループは、今後も先進的な金融サービスの提供と投資領域におけるイノベーションを通じ、持続可能な社会の実現に貢献していく考えです。

※ 本ニュースリリースは、当行または SBI グループが組成・運用する投資信託その他の金融商品の勧誘を意図したものではありません。また、投資判断の参考として特定の商品やサービスを推奨するものではありません。

以上

お問い合わせ先

SBI新生銀行 サステナビリティ&コミュニケーション統括部  
報道機関のみなさま [SBIShinsei\\_PR@sbishinseibank.co.jp](mailto:SBIShinsei_PR@sbishinseibank.co.jp)  
株主・投資家のみなさま [SBIShinsei\\_IR@sbishinseibank.co.jp](mailto:SBIShinsei_IR@sbishinseibank.co.jp)